



# 保南の風にのせて

<http://www.kusuna-e.edu.city.hiroshima.jp>

校長 杉山幸子

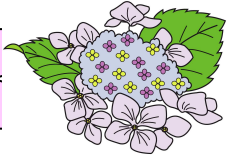
楠那小だより

臨時号 5号

平成24年

6月22日発行

**6年生55名 小学校での最高の思い出をつくりました  
思いやり・「ありがとう」の感謝・感動する心の修学旅行でした**



吉野ヶ里遺跡南内郭探検

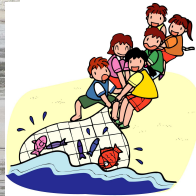
6月17日(日)、18日(月)に6年生は佐賀県唐津市虹の松原、吉野ヶ里歴史公園、北九州市自然史・歴史博物館、スペースワールドへ修学旅行に出かけました。

一日目、心配した雨に出会うことなく、佐賀平野に広がる広大な敷地の吉野ヶ里遺跡を巡りました。勾玉づくりを体験し、弥生時代にタイムスリップした気分を味わいました。夕刻は、かつて、万葉の詩人山上憶良、大伴家持が歩いた砂浜であろう玄海国定公園・虹の松原で地引網を体験しました。黒鯛、エイ、タコ、イカ、サヨリ、蟹などたくさんの魚を収穫しました。夕飯には、さしみや唐揚げや煮物に姿を変え、おいしく頂きました。

二日目、台風4号の影響を心配しましたが、早朝6時に虹の松原を全員で散策しました。その後、北九州市へ向かい、自然史・歴史博物館(いのちのたび博物館)で命の起源に想いを寄せました。博物館を出る頃、雨が降り出しました。楽しみにしていたスペースワールドでしたが、グループで相談しながら乗り物を決めたり、食事をしたり十分楽しんだ顔をしていました。



虹の松原海岸での地引き網体験と収穫した魚をつかむ



弥生時代の人の暮らしがわかった。集落をつくって身を守っていたことがわかった。昔の人の知恵に感心した。



博物館内を探検、発掘された恐竜の化石



地引網を引くのが大変だった。力をふりしぼった。魚が捕れたときは、うれしかった。イカは墨を吐いてきたが、みんなで一匹ずつ持って写真を撮った。

いのちのたび博物館にいる間は雨が降っていたが、すぐ隣のスペースワールドに着いたとき、雨はやんでいた。乗りたい乗り物に乗るのにみんな必死だった。雨は降ったりやんだりだったが、満足している。





楠那学区には、穴神社、最勝寺、胡神社、しお湯、丹那石ぶろ、大雁木跡など多くの史跡が残されています。楠那に住む子どもたちは、3年生で町探検をします。いつも通る道に大切に保存したい史跡が潜んでいるかもしれません。「ぼくは、岩鼻博士」「穴神社のことは、わたしに任せて！」と言えるくらい調べ学習が進むとよいですね。まずは、歩いてみて、好きな場所を探しましょう。探検学習で3年生が地域のことを尋ねましたら、しっかり教えてやってください。よろしくお願いします。子どもたちが暮らす楠那の地を大切に守ってほしいと思います。

### 黄金山伝説

社会福祉協議会 加藤会長より

黄金山には黄金にまつわる伝説はいくつかあります。その一つを紹介しましょう。

仁保島という名前は邇保姫神社の祭神である邇保都比売神(にほつひめのみこと)に由来するという説があります。神功皇后が航海の安全祈願をされた際、邇保都比売神から不思議な赤土を使うようにとお告げを受け、無事航海を終えた皇后が感謝の念を込めて建てられたお社が邇保姫神社の始まりとか。この赤土は「丹=に」と呼ばれた硫化水銀のことで、弥生時代から赤色顔料として使われ、卑弥呼の時代には真珠などと一緒に貢物として中国の魏王に届けた宝物でした。神聖な神社や社寺の塗装、奈良の大仏や木造船の防腐剤として使われたものです。その昔、仁保島は黄金に匹敵する貴重な丹の産地だったので、黄金山と呼ばれるようになったのかもしれない。

### 「平和って…どんなこと。自分にできることは何だろう」4年生が学習を積んでいます

楠那小学校では、毎年、4年生が平和集会のリーダーとなります。そのために、平和祈念資料館から西村さんに来ていただいて話を聞いたり、平和祈念公園に勉強に出かけたりして探究学習をしています。今回は、「語部」の高橋さんと土川さんから原爆当日の話を聞きました。



話を聞いて、「戦争はこわいな」と思った。二度とおこしたくない。平和集会では、戦争のおそろしさと、かなしさを伝えたい。佐々木さだこさんの願いや思いを伝えたい。

自分たちがしている小さなけんかが、大きなけんかになるので、けんかを減らしたいと思った。平和集会では、勉強したことを紙芝居にして、おりづるの願いを伝えたい。